

佐原五中だより

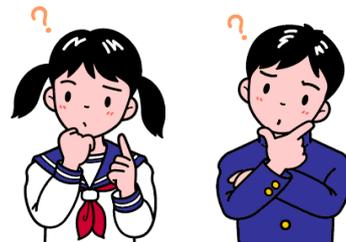
学力向上について考えてみる

3年生は進路面談も始まり、進路選択が本格化。

1, 2年生もまもなく定期テストと、学力向上に向

けてこの機会にじっくり考えてみるのもいいかも。ということで、今回はいくつかの素朴な疑問について触れてみたいと思います。

Q 1. そもそも五中の学力は他と比べてどうなの？特に、自分の学年はどんな傾向があって、どうしていけばいいの？



A 1. ここで言っている「学力」は、数値化されたもの、いわゆる

「点数」のことですね。たしかに校内だけの定期テストでは、他校との比較が

できないので、五中がどれくらいの力をもっているのか分かりません。ただ、他校も同じ問題でテストを行う「実力テスト」ならば、県平均との比較ができ、ひとつの目安になると思います。ここでは、9月に実施された「実力テスト」のデータをもとに、学年ごとに分析してみたいと思います。

(※ちなみに「学力」は、本来「①基礎的・基本的な知識・技能、② ①を使って課題を解決していくための思考力・判断力・表現力、③学習意欲」を総合した力のことをさします。一応知っておいて下さいね)

【1年生】9月23日実施

	国語	社会	数学	理科	英語	3教科	5教科
県平均点	52	65	71	64	66	189	318
五中1年生	53	68	62	66	66	181	315

3教科とは国
数英の三つ。
私立高校はほ
ぼこの3教科

(考察)

- ・1年生は、5教科全体でわずかに(3点)県平均を下回っています。
- ・社会、理科、国語が県平均を上回っているのが1年生の特徴であり良い点です。特に、社会の力はかなり高いようです。
- ・逆に、数学は県平均を大きく下回っており、1年生の弱点と言えます。高校入試では、一般的に点数の差が大きく出るのは「数学と英語」と言われていますので、2年後の入試を考えた場合、数学がこれだけ下回っているのは不安材料です。特に、数学は積み重ねの教科なので、基礎が定着していないと伸びません。今のうちに、基礎的な計算力をつけておく必要があります。

【2年生】9月23日実施

	国語	社会	数学	理科	英語	3教科	5教科
県平均点	56	56	68	53	55	179	288
五中2年生	57	56	69	60	52	178	294

(考察)

- ・2年生は、5教科全体で県平均を6点上回っており、良好な状況と言えます。
- ・どの教科もほぼ県平均レベルの得点をとっています。特に、「理数系に強い」という学年の特徴が見て取れます。数学で県平均を上回っているのは、入試に向けて好材料と言えます。理科の得点はかなり高いですね。このまま得意教科にしちゃってください。
- ・逆に、県平均を下回っている英語は、1年生の数学と同様に高校入試に向けた大きな課題。ここは3年生に進級する前に改善に努めたいところです。

【3年生・第4回】9月23日実施

* 3年生は、年間7回の実力テストを実施しますが、そのうちの4回目の結果です。比較の対象は「県平均」でなく、「香取地区の郡市平均」にしてみました。

	国語	社会	数学	理科	英語	3教科	5教科
郡市平均	54	46	41	54	56	151	251
五中3年生	57	41	41	55	57	155	251

(考察)

- 5教科の平均はピッタリ郡市平均と同じ。ただ、特筆すべきは、これが4回目の実力テストの結果であって、それまでの3回はいずれも郡市平均をかなり下回っていたこと。つまり、3年生は徐々に点数をあげ、郡市平均に追いつくまでに頑張ってきたということです。この努力は見事！
- 全体的にどの教科も郡市平均レベルの得点で、入試で差がつきやすい数学・英語も大きく落ち込んだりはしていませんね。国語・英語の語学系が強いようですが、社会はもっと努力が必要です。社会は重要語句の暗記中心の学習方法で、短期間で伸ばせる教科でもありますので、おうちゃくしないで取り組めば向上できますよ。
- 5教科が郡市平均と同じということは、香取地区の全中学校の中ではちょうど中間あたりに位置することになります。もっと平均点の高い中学校がいくつもあるわけで、入試ではそれらの生徒と一緒に試験を受けることになるわけです。だから、5教科平均が280点台に到達するくらい、より一層のレベルアップを望みたいです。

1教科6点ずつアップできれば280点台よ



1, 2年生へ
各学年の実力テストの結果分析を紹介してきましたが、気がつきませんでしたか？それは、1年315点→2年294点→3年251点と、「学年があがるにつれて得点が低くなっていった」こと。これは「学年があがるごとに、テスト範囲が広く、問題自体が難しくなっている」からなのです。だから、「今、身につけておくべき学習内容は、おろそかにせず、今のうちにマスターしておく」ことです。

Q2. そもそも「実力テスト」と「定期テスト」ってどう違うの？

A1. 2つのテストを比較し、その特徴や勉強の仕方、用いられ方などについて、整理して述べてみます。

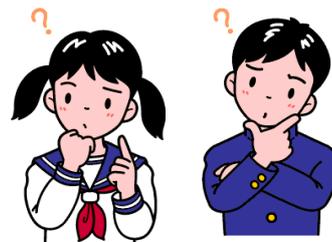


3年生は、年間を通じてこの2つのテスト対策（「3年の学習内容の定着」と「1、2年の復習」。いわゆる「二本立て学習」）を進めなければならないから大変なのです。学習内容も時間も1,2年の倍！

定期テスト	実力テスト
<ul style="list-style-type: none"> • 校内のみで前期2回、後期2回（3年は後期1回）行われるテスト。教科担当の先生が問題を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 一般に言う「業者テスト」のこと。他の学校も同一の問題で行うので、県平均などとの比較もできる。 • 1、2年は年2回。3年は年6～7回
<ul style="list-style-type: none"> • 先生が問題を作成するため、テスト範囲は授業で学習した範囲内。→授業をよく聞き、ノート整理や教科書中心の復習の学習方法で、ある程度対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 業者が問題を作成。テスト範囲は幅広く、3年の後半はほぼ入試に近い「総合問題」（1～3年の学習内容すべて）となる→「整理と対策」などの参考書や問題集中心の勉強が必要
<ul style="list-style-type: none"> • 通知表の54321の教科評定に直結し、それはそのまま高校入試の内申点に結びつく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 通知表や内申点には関わらないが、入試に最も近いテストだけに、高校選択の際の面談時に判断材料として用いられる。

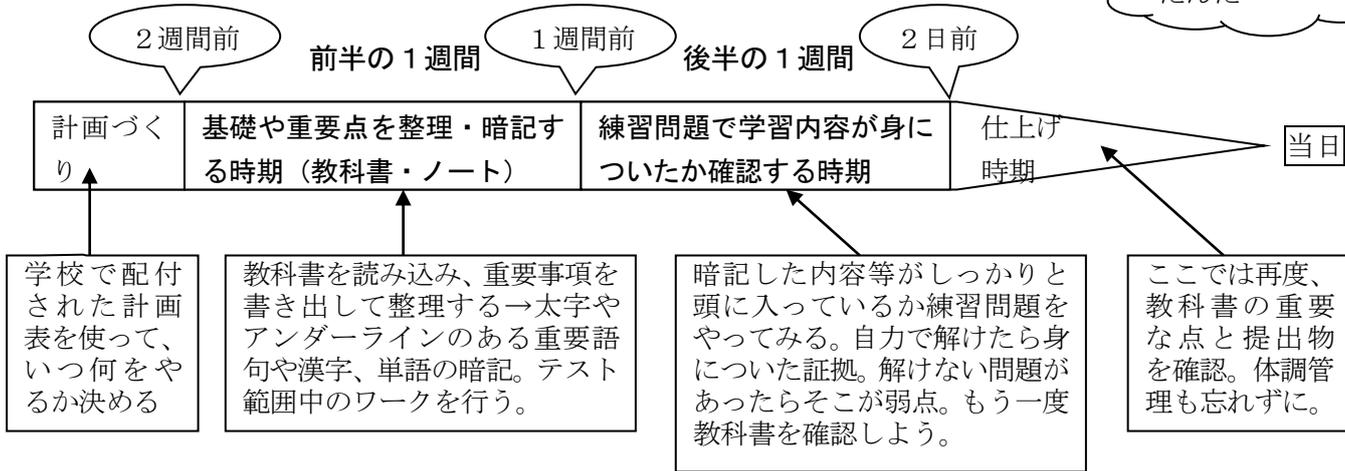
Q3. それじゃあ「定期テスト」に向けた勉強はどんなふうに進めればいいのか？何かポイントやコツはあるの？

A3. いくつかのポイントを紹介してみます。



鉄則①「大まかな学習プラン」を立てよ

～テスト前2週間、前半の1週間と後半の一週間は「勉強の仕方」が違う!?



へえ～そうだったんだ

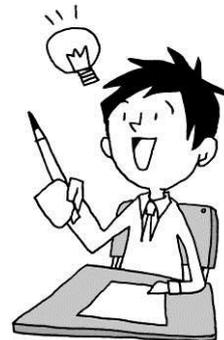
鉄則② 日常の学習計画を立てよ

～計画通りいく人は土、日の使い方がうまい

(例)

11/9	水	国・理・数
10	木	社・英・数
11	金	国・理・数
12	土	国・社・数・理
13	日	英・社・数・理

- ・ 1教科50分くらいで、一日2～3教科入れる。(100～150分)
- ・ 土、日は平日より多めにとれるので、教科を増やすか時間を多めにとる。また、1週間の計画のずれをこの土、日で修正しておくともベリーグッド。



鉄則③ 一日の時間帯から学習時間を生み出し、固定せよ

～時間のやりくりをうまくやろう!

(例)

部活動	
下校	
夕食・入浴・TV・ゲームなど自由時間	6時
勉強タイム① (50分)	8時
勉強タイム② (50分)	9時
勉強タイム③ (50分) →記録	10時
睡眠	11時

自分に合ったペースで、一日2～3教科学習できる時間帯を作り出そう。

「勉強はしなくちゃいけない。でもゲームもやりたい」……このへんがホソネの部分でしょうね。

ゲームやテレビの時間をとってはいけない、というわけではありません。もちろん、テスト前の2週間はある程度の制限は必要ですが、時間のやりくりをうまくやることですね。

*勉強終わってから気分転換にゲーム、なんてこともあるでしょうが、就寝が夜中の0時を過ぎると体調不良につながる所以要注意!家でバッチリ勉強してるのに、かんじんの授業中に眠くなったり、体調崩したりでは本末転倒、「これダメ～」のパターンですから。

鉄則④ 実行できたかどうかの自己評価を、学習計画票に必ず記録せよ

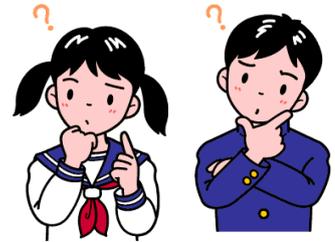
～計画どおりやり遂げるには、毎日の自己評価が必要！

立派な計画を立てても、実行しなければ全く無意味。その日、計画通りできたのかできなかったのか、必ず自己評価（○→できた、△→あまりできなかった、●→全くできなかった）を記録すること。特に、計画を立てた最初の3日間は、意識して自己評価すること。最初の3日間ができれば、そのまま2週間行けます。ところが、最初の3日間でくじけると実にもったいないことに「計画の立てっぱなし」で終わっちゃいます。

Q 4. ズバリ成績を向上させるには、どうしたらいいの？

A 4. 成績向上に向けては、主に次の3つを心がけてほしいです。

- ① 授業態度（意欲、授業道具の忘れなし）
- ② 家庭学習の習慣
- ③ 提出物（宿題やワーク、作品）の期限厳守



さて、キミはどっち？自分自身を振り返ってみよう。

		あらら？こりやmazいぞパターン	ぐんぐん伸びるブラボーパターン
①	授業態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業道具の忘れが多い。 ・授業中、おしゃべりなどで注意される。 ・授業中、ぼーっとしている。 ・ノートを満足にとらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業道具の忘れはほとんどない。 ・授業中、集中して取り組んでおり、積極的に発言や活動をしている。 ・ノートをきちんととっている。
②	家庭学習の習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・家でほとんど勉強しない。宿題をやるのもよく忘れてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題をはじめ、家庭学習は必ずやっており、毎日提出できている。 ・計画を立てて家庭学習を進めている。
③	提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・提出期限を守れないことが多い。作品やもらったプリントをすぐなくす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出期限を守れないことはほとんどない。プリントなども整理している。

家庭学習チャレンジの結果(10月編)

学習委員会が集計してくれました。10月3日～10月30日までの1ヵ月間の平均家庭学習時間です。各学年のベスト5をピックアップしてみました。文化祭もあって大忙しの時期でしたが、3年生の学習量は圧倒的！さすが受験生ですね。

	3年生	2年生	1年生
第1位	Kくん（4時間17分）	Iさん（約2時間）	Eさん（2時間6分）
第2位	Hくん（4時間9分） Sさん（4時間9分）	Sくん（1時間43分）	Nくん（1時間42分）
第3位	Tくん（4時間4分）	Sくん（1時間32分）	Hさん（1時間34分）
第4位	Sくん（3時間40分）	Iくん（1時間28分）	Oさん（1時間30分）
第5位	Sさん（3時間37分）	Sくん（1時間23分）	Iさん（1時間19分）

